

世界史

解答範囲は、解答番号 1 から 40 までです。

I 次の文(1)・(2)を読み、下の問い(問1～問13)に答えなさい。

(1) ユーラシア大陸の東南部を横切って流れる黄河と長江の流域は、古来より人間が生活した地域であり、黄河流域では前6000年頃までにアワなどの雑穀が栽培され、また長江流域では稲作が行なわれたことが確認されている。前5千年紀の黄河中流域における **ア** は、彩色文様の土器でよく知られる。

前3千年紀になり地域間のヒトとモノの移動が盛んになると、黄河中・下流域では竜山文化が成立し、この文化が生み出した **イ** は遼東半島から華南にまで広がった。

前2千年紀になると集落の大型化が進み、城壁や濠で囲まれた邑が登場した。それらの一つであった殷(商)は、宗教的儀礼の権威や各種の進んだ技術・文化によって、その他の大邑を従えることに成功した。殷は、黄河文明において歴史上確認できる最古の王朝であり、その遺跡である殷墟では多くの文物が発見された。

前1100年頃、西の辺境よりおこった周が殷を滅ぼして王朝を起こした(西周)。西周は周開の有力氏族を支配下に置き、封建制を敷いた。諸侯は父系の血縁集団をつくり、彼らの規範を立てて結束を固めた。こういった君臣や氏族の結びつきによって周の支配は支えられたが、その結びつきは徐々にゆるみ、周王室は衰退することになる。前770年、戎による攻撃を受けた周は都を **ウ** に移した(東周)。周王室の権威は失墜し、各地の有力者が勢力争いをはじめた。春秋時代のはじまりである。

問1 空欄 **ア** に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 **1**

- ① 二里头文化 ② 仰韶文化 ③ 三星堆文化
- ④ 屈家嶺文化 ⑤ 紅山文化

問2 空欄 **イ** に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 **2**

- ① 銅鼓 ② 画像石 ③ 刀銭 ④ 白磁 ⑤ 黒陶

問3 下線部⑤について、殷の治世に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

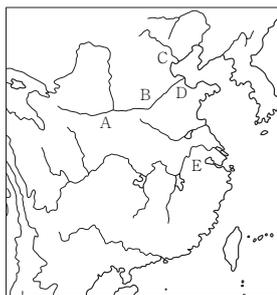
解答番号 **3**

- ① 殷が広い交易ネットワークの中心にあったことは、殷墟から出土した南海のタカラガイや西域の玉器からわかる。
- ② 祭祀には青銅器が用いられ、それらには呪術的な力を表現するために想像上の獣が描かれた。
- ③ 政治は、占いという神意をうかがう手段で行なわれた。
- ④ 五銖銭を発行した。

問4 下線部⑥について、殷墟の位置として正しいものを、次の地図の中から一つ選びなさい。

解答番号 **4**

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E



問5 下線部⑦について、周の封建制に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 **5**

- ① 一族や功をあげた家臣、土着の首長に与えられた領地は封土と呼ばれた。
- ② 主君と家臣の間で結ばれた契約に基づく。
- ③ 周より領地を与えられた者は諸侯と呼ばれた。
- ④ 領地を与えられた者たちには貢納や軍役が課せられた。

問6 空欄 **ウ** に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 **6**

- ① 洛邑 ② 鎬京 ③ 北京 ④ 会稽 ⑤ 開封

(2) 東周の前半にあたる春秋時代には、春秋の五覇が **エ** をうたいながら自己の勢力拡大をはかった。その後、東周の後半にあたる戦国時代には、国士の抗争がさらに激化して戦国の七雄が分立した。その七雄に含まれる **オ** は、やがて他の六国を圧倒し、ついには中国最初の統一王朝を建国することになるのである。

以上のように、春秋・戦国時代は中国統一に至るまでの長い戦乱の時期であったが、一方で中国の社会と文化が大きな変革を遂げた時代でもあった。周以来の身分制や氏族制が衰退し、個人の能力が重視されたのもこの時代の特徴である。さまざまな思想や学問が登場し、東アジアにおける思想上に後世まで大きな影響を与え続けた。いわゆる諸子百家である。なかでも、儒家と法家の説いた思想は、国家統治の理念として利用され続けることになった。さらに、老子や荘子によって説かれた道家思想は、東アジアにおける民間信仰を形成することとなる。

これらの思想が後代にまで残った理由の一つは、文字による記録がはじまったからである。殷以降、各地で使われたさまざまな文字は、後になって漢字と称されるようになる文字へと継承された。また各地の詩歌が書きとめられはじめたのも春秋・戦国時代であり、漢代に入ると長江流域の詩歌 **オ** がまとめられている。このようにして、中国文学の古典が形成されたのである。

問7 空欄 **エ** に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 **7**

- ① 焚書・坑儒 ② 禪讓・放伐 ③ 善隣外交
- ④ 易姓革命 ⑤ 尊王・攘夷

問8 下線部⑧について、戦国の七雄として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

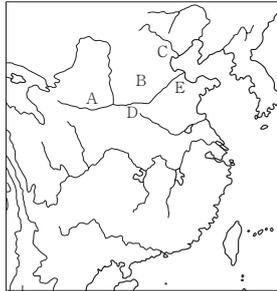
解答番号 **8**

- ① 魏 ② 齊 ③ 韓
- ④ 晋 ⑤ 趙 ⑥ 楚

問9 下線部⑥について。戦国時代後期における秦の首都の位置として正しいものを、次の地図の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E



問10 下線部⑦について。春秋・戦国時代の社会に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 春秋時代に現れた鉄器は農業生産力を向上させた。
② 商取引の仲立ちとして、中国全土で統一された青銅貨幣が普及した。
③ 各国は農業を重んじる一方で、商業の動きを規制した。
④ 戦国時代の各国では獲得経済が広がり、人口が増加した。

問11 下線部⑧について。諸子百家に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 陰陽家は天体の動きと人間社会との関連を説いた。
② 墨子は人が本来そなえている良知を重んじ、「知行合一」を説いた。
③ 孔子は周の徳治を理想とし、礼による社会秩序の重要性を説いた。
④ 老子や荘子は無為自然を説いた。

問12 下線部⑨について。漢字文化に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 殷代に使われた甲骨文字は漢字の原形となった。
② 西夏では漢字をまねて西夏文字がつけられた。
③ ベトナムの李朝では漢字を利用してチュノム(字喃)がつけられた。
④ 日本の平仮名は漢字を由来とする文字である。

問13 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 『春秋』 ② 『蘭亭序』 ③ 『詩経』
④ 『楚辞』 ⑤ 『文選』

II 次の文(1)・(2)を読んで、下の問い(問1～問13)に答えなさい。

(1) ここでは、東南アジアにおける貿易の繁栄と植民地化の歴史を見てゆく。14世紀末頃、マレー半島南西部に成立した 王国は、鄭和の遠征をきっかけに急成長し、海域東南アジアの中心となり、東シナ海・南シナ海の交易とインド洋の交易を結ぶ役割を担った。15世紀になると、ベトナムの 朝が、明と朝貢関係を結んで、明の制度を取り入れて国力を高めたが、16世紀以降、王朝による支配は形骸化し、西山(タイソン)の乱が起こった。

16世紀は、ヨーロッパの勢力が東南アジアにおける活動を活発化させはじめた時期でもある。アジアの富を求めたポルトガルやスペインがこの地域に競って進出し、香辛料の貿易が急激に増大した。諸島部では、16世紀からスペインがフィリピンに進出し、17世紀にアンボyna事件を起こしたオランダはジャワ島での領土獲得にのりだした。一方、この時期の東南アジアには、マタラム王国のように、交易の利益やヨーロッパから伝来した新式の火器など、外国との交流を利用して強力な国家を建設した国々もあった。

問1 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① マジャパヒト ② アチェ ③ モノモタパ
④ アクスマ ⑤ マラッカ

問2 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 陳 ② 阮 ③ 李 ④ 黎 ⑤ 胡

問3 下線部⑩について。西山の乱とそれによって成立した政権に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 圧政に苦しむ農民の不満を背景にして起こった。
② 分裂状態にあった二つの政権は、この乱によって倒された。
③ 西山の政権が倒された背景には、フランス人宣教師ビニョーによる関与があった。
④ 西山の政権を倒した人物は、明によってベトナム(越南)王に封ぜられた。

問4 下線部⑪について。ポルトガルの動向に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ミンダナオ島の統治にあたり、ムスリム勢力の抵抗を受けた。
② インド西部のゴアを占領し、大聖堂を建設した。
③ マカオの居住権を得て、中国と交易した。
④ ヴイジャヤナガル王国に対しては馬を商品として売った。

問5 下線部⑫について。15世紀と16世紀におけるスペインの動向に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① カブラルがブラジルに漂着し、ここをスペイン領とした。
② マゼラン(マガリャンイス)の計画を後援した。
③ バルボアがパナマ地峡を横断して、ヨーロッパ人として初めて太平洋に到達した。
④ アメリカ大陸で採掘した銀を、ガレオン船を用いて東南アジアに運んだ。

問6 下線部④について。スペインによるフィリピン統治に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

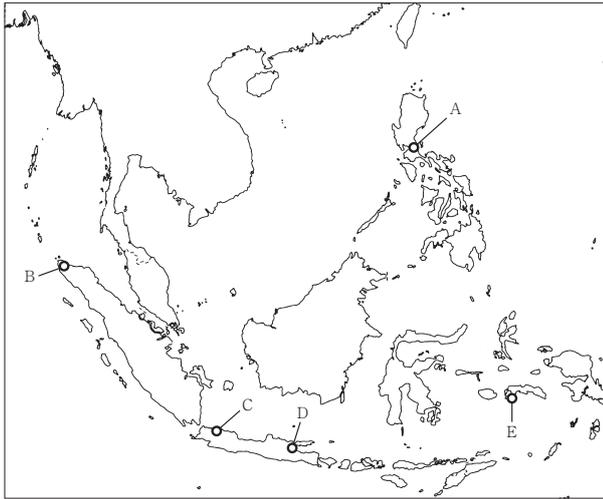
解答番号

- ① 住民のカトリックへの改宗を進めた
- ② ルソン島をアカプルコ貿易の中継地として利用した。
- ③ 16世紀の統治開始直後からマニラを自由港として各国に開港した。
- ④ タバコの強制栽培を行なった。

問7 下線部③について。アンボイナ事件が発生した場所として正しいものを、次の地図から一つ選びなさい。

解答番号

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E



問8 下線部①について。オランダのジャワ島支配に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ジョホールを拠点にして香辛料交易を独占した。
- ② オランダ東インド会社の解散後は、オランダ本国がジャワ島を直接支配した。
- ③ ジャワ島西部のイスラーム国家バンテン王国はオランダによって支配された。
- ④ 19世紀には、オランダ支配に対する大規模な反乱(ジャワ戦争)がおこった。

問9 下線部③について。マタラム王国に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① イスラーム国家である。
- ② スマトラ島において成立した国家である。
- ③ 内紛とオランダ東インド会社の介入によって解体した。
- ④ 米の交易で栄えた。

(2) 18世紀から19世紀にかけて、東南アジアの大陸部(インドシナ半島)では、コンバウン(アウランバヤー)朝などのように、新王朝がつぎつぎに成立した。同じ時期に、マレー半島とビルマ(ミャンマー)に進出したイギリスは、マレー半島の港市を支配し、さらに、ベナンなどとともに海峡植民地のひとつとなる都市ウを建設した。

東南アジアのほとんどの地域がヨーロッパ諸国の植民地となるなか、例外的に、植民地化の圧力を回避したのはタイであった。18世紀の終わりに成立したタイのラタナコーシン(チャクリ)朝は、ビルマの侵入を防ぎつつ、現在のタイの領域全域に支配を拡大し、中国との交易によって栄え、外国人専門家をまねいて行政・司法組織などを改革して、ヨーロッパ勢力と向き合った。

タイを除く地域が植民地とされた東南アジアにおいて、19世紀末から20世紀にかけて、フィリピンやインドネシア、ベトナムにおける現地知識人たちが起こした様々な運動が、植民地支配に抗するものとなってゆく。

問10 下線部⑤について。コンバウン朝に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① タイのアユタヤ朝を滅ぼした。
- ② インド東北部のアッサム地方に侵攻した。
- ③ イギリスとの3次にわたるビルマ戦争に敗北した。
- ④ クメール人勢力がタウンガー朝を滅ぼして興した王朝である。

問11 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① サイゴン ② スラウェシ ③ バレンバン
- ④ マドラス ⑤ シンガポール

問12 下線部①について。ラタナコーシン朝に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ラーマ4世の時代に欧米との間に自由貿易の原則が確認された。
- ② チュラロンコン(ラーマ5世)は、イギリスとフランスとの勢力均衡策をたくみにとり、留学を積極的にすすめて、近代化を成功させることで植民地化を回避した。
- ③ 首都はバンコクである。
- ④ 米の商品化が進み、エーヤワディー(イラワディ)川のデルタ地帯の開発が進んだ。

問13 下線部①について。20世紀に入ってから東南アジアにおける知識人による運動に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① フィリピンでは、ホセ・リサルらが維新会を結成した。
- ② インドネシアでは、ジャワの文化向上を目指すプディ=ウトモ(最高の英知)が組織された。
- ③ インドネシアでは、現地人の相互扶助や啓蒙活動を目的として、サレカト=イスラム(イスラーム同盟)が組織された。
- ④ ベトナムでは、ファン=ボイ=チャウを中心に、フランスからの独立と立憲君主制の樹立をめざす運動がおこった。

英語

日本史

世界史

政治・経済

数学(文系型)

数学(理系型)

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

問8 下線部⑥について。現在まで続くパレスチナ問題は、第一次世界大戦中にイギリスがアラブ人とユダヤ人の双方に国家建設を約束したことが原因の一つとなっています。第一次世界大戦中にイギリスがアラブ人の国家建設を認めた取り決めとして正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① セーヴル条約 ② オスロ合意
- ③ パルフォア宣言 ④ フェイン・マクマホン協定
- ⑤ サイクス・ピコ協定

問9 下線部①について。1945年4月から6月に開催された国際連合憲章を採択した会議として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ブレトン＝ウッズ会議 ② サンフランシスコ会議
- ③ ポツダム会議 ④ ダンバートン＝オークス会議
- ⑤ ワシントン会議

問10 下線部①について。イギリスのインド統治に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① インド帝国の皇帝は、インド人から選出した。
- ② ベンガル州を分割する法令を出した。
- ③ ローラット法の制定により、インド支配を強化しようとした。
- ④ 1935年のインド統治法は、各州の自治権を認めた。

問11 下線部⑤について。

ア) 第二次世界大戦終結以降と異なり、19世紀のアメリカ合衆国は、原則としてヨーロッパには干渉しない政策をとっていました。この外交政策を定めた大統領として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ジェファソン ② ジャクソン ③ リンカン
- ④ モンロー ⑤ タフト

イ) 20世紀後半のアメリカ合衆国による他国への介入に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① グアテマラの左翼政権の打倒を支援し、親米政権を樹立した。
- ② イランでの反近代化路線を掲げる革命運動を鎮圧した。
- ③ キューバに核兵器を配備した。
- ④ スエズ運河の国有化宣言に対して、エジプトに軍事侵攻した。

問12 下線部①について。マーシャル・プランは、冷戦の構造を固定化させることにつながりました。冷戦期の出来事に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① フランスが核実験を成功させ、核保有国となった。
- ② 中国とソ連が対立し、国境付近で軍事衝突を起こした。
- ③ ゴルバチョフが、ソ連軍をアフガニスタンに侵攻させた。
- ④ 西ドイツの首相だったブラントは、ポーランドとの国交を正常化させた。

問13 下線部⑥について。この条約によって、1949年に北大西洋条約機構(NATO)が12カ国で発足しました。発足時の加盟国として誤っているものを、次の中から二つ選び、解答番号40の欄を使用して二つの番号をマークしなさい。

解答番号

- ① スペイン ② フランス ③ オランダ
- ④ ルクセンブルク ⑤ 西ドイツ ⑥ ベルギー